



www.ojipaper.co.jp



やわらか♥ハート
nepia
王子製紙グループ
www.nepia.co.jp

nepia 東北地方被災地支援活動

支える人を支えよう！

あなたの選ぶネピアが被災地の支援活動を支えるチカラになります

Press Release

2011年5月20日

王子製紙株式会社
王子ネピア株式会社

王子ネピアはこの度、本年度のネピア商品の売上の一部を拠出して

被災地のみなさまの支援に取り組ませていただくこととしました。

王子製紙株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:篠田和久、以下王子製紙)と、王子ネピア株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:佐田修一、以下王子ネピア)はこの度、本年度中のネピア商品の売上の一部を拠出して、被災地での被災者支援に取り組むNPOなどの活動団体に、活動を支える資金をご提供する取組み「nepia 東北地方被災地支援活動～支える人を支えよう！～」を、スタートさせることといたしました。

具体的な取り組みといたしましては、この度の被災地である東北地方を対象に、草の根的な被災者支援に取り組むNPOなどの活動団体に対し、公益社団法人日本フィランソロピー協会(所在地:東京都千代田区、理事長:高橋陽子、以下日本フィランソロピー協会)を通じて、必要とされる資金をご提供して活動を支えるとともに、社員の参加などで被災地の支援に協力して参ります。

全国の消費者のみなさまの思いとともに、ネピア商品の売上の一部をご提供することにより、本年度中に、10以上の活動団体を支援することを目標といたします。

この度はまず、日本フィランソロピー協会の推薦により、以下の6つの団体の支援を決定させていただき、以降順次、支援先を選ばせていただくこととします。

■支援活動団体と活動のご紹介

◇特定非営利活動法人 琥珀の泉(所在地:岩手県久慈市、理事長:女澤貴公)

【活動概要】:大震災で被災した中、子どもたちの居場所づくりを展開。県北沿岸部被災地の小・中学生が参画し「子ども・絆キャンプ」を夏休みに実施。被災地の子どもに元気を取り戻す活動を推進中。

(<http://blog.goo.ne.jp/kohakunoizumi/>)

◇花巻市民活動ネットワーク協議会(所在地:岩手県花巻市、代表:中台照幸)

【活動概要】:仮設住宅などに入居後の母子の健康と新生児・乳児の順調なる発育のため、仮称ママハウスを被災地に開設し、200組程度の母子の受け入れ、心身のケアを実施。

◇特定非営利活動法人 ネットワークオレンジ(所在地:宮城県気仙沼市、代表理事:小野寺美厚)

【活動概要】:気仙沼市内にあった障がい者自立支援事業の活動拠点が津波で全壊した中、代表の自宅に障がい児・障がい者を受け入れて事業を継続。「気仙沼みらい創造塾」を立ち上げ、産業再生の取り組みも開始。

(<http://blog.canpan.info/orange-orange/>)



www.ojipaper.co.jp



www.nepia.co.jp

◇特定非営利活動法人 ワンファミリー仙台(所在地:宮城県仙台市、理事長:立岡学)

【活動概要】:全国から寄せられた救援物資の受け皿としての機能を整備し、行政の手が届きづらい自宅・施設避難者に重点をおいた物資配給を行う。宮城県ならびに仙台市との協働で高齢被災者の定期訪問も実施。

(<http://www.onefamily-sendai.jp/>)

◇特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎(所在地:福島県会津若松市、理事長:江川和弥)

【活動概要】:被災し、友達や親戚との別れなどで大きなストレスを負った子どもたちの心のケアを実施。地域の大学生ボランティアと連携して、子どもたちの勉強を見るための避難所回りや学習教材などの物資支援も行う。

(<http://www6.ocn.ne.jp/~houjyou/>)

◇ARTS for HOPE(所在地:東京都品川区、代表:高橋雅子)

【活動概要】:従来からの活動であるホスピタルアート(療養中の患者さんを対象にアートによる心のケアを行う)の手法を用い、被災地の子どもたちの心の傷を癒すアートワークショップを巡回実施中。

(<http://wap.petit.cc/grape1/>)

◆今後の支援団体の選定と活動の進捗は、特設サイト「nepia 支える人を支えよう！」(<http://www.nepia-sasaeru.com/>)にて、詳しくお伝えして行く予定です。

この度の震災において被災されたみなさまに、改めてお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご復興を心からお祈りいたします。

＜本件に関する報道機関からのお問い合わせ先＞
「nepia 東北地方被災地支援活動 ～支える人を支えよう！」
王子ネピア株式会社 商品企画部 担当 齊藤、大堀
Tel:03-3248-2855/Fax:03-3547-1454

【参考資料】

■支援目標金額

本年度中に、10以上のNPO団体などの活動を支える為の資金として、4,000万円以上の拠出を目標とし、本年度(2011年5月1日から2012年3月31日まで)の、ネピアブランド一般市販全商品の売上に一定率を乗じる計算で拠出金額を算出します。



■王子製紙について

王子製紙グループは、日本で初めて本格的な近代産業として製紙業を開始しました。創業者である洪沢栄一翁の言葉「論語と算盤」、すなわち道徳と経済の合一、倫理と利益の両立という理念を受け継ぎ、事業遂行の基本的精神を表現するものとして、「環境と文化への貢献」、「革新とスピード」、「世界からの信頼」を企業理念としています。「環境と文化への貢献」では、王子製紙は1873年の創業以来約130年間、「読む」「書く」「包む」「拭く」生活のさまざまな場で用いられる紙の安定供給を通じて文化に貢献する会社であることを基本理念としてきました。同時に、森のリサイクル、紙のリサイクルの推進により積極的に環境保全と循環型社会に貢献する企業であることを目指しています。具体的には、海外での植林を1970年代からはじめ、現在では植林面積の目標を30万ヘクタールに拡大、また、古紙の利用率は60%を超えるレベルにありますがさらに高めるべく取り組んでいます。
(<http://www.ojipaper.co.jp>)

■王子ネピアについて

王子ネピアは、“やわらかハート”のスローガンのもと、すべての商品を通じてみなさまの快適な暮らしのお手伝いを目指しております。ティッシュやトイレットロールをはじめとしてキッチンタオル、赤ちゃん用紙おむつ、大人用紙おむつにいたるまで、お客様の生活に幅広く密着したかたちで、やわらかな肌ざわり、やわらかな使い心地の追求を続けて参りました。また、社会の課題に対して、企業には何ができるだろうと考え、2007年からは「うんち教室」を、日本トイレ研究所と共に日本の小学校で実施。2008年からは、ユニセフとともに東ティモールでのトイレづくり支援「千のトイレプロジェクト」を立ち上げ。さらに2010年からは、赤ちゃん用紙おむつnepia GENKI!の売上の一部で、難病の子どもたちに笑顔を届ける「日本クリニックラウン協会」を支援しています。
(<http://www.nepia.co.jp>)

■日本フィランソロピー協会について

1960年設立。1991年より個人や企業のフィランソロピー(社会貢献)活動の促進を目的に、企業へのコンサルテーションや出版・研修事業、顕彰事業等、各種事業を行う。市民、団体、企業、行政の幅広い活動基盤で企業のCSR活動をサポートする。2009年に公益社団法人として認定される。会員企業数は107社(2011年5月1日現在)。

※フィランソロピーはギリシャ語のフィリア(愛)とアンソロポス(人類)を語源とする合成語で、直訳すると人類愛、慈善のこと。日本では「社会貢献」の意味で使われている。

(<http://www.philanthropy.or.jp/>)